

## 岸宏一厚生労働副大臣からのメッセージ



芸術や文化活動は、誰にとっても、楽しみやよろこび、生きがいなどを生み出し、人々の生活を豊かにしてくれるものです。つまり障害のあるなしに関係しない垣根のない世界と言えます。

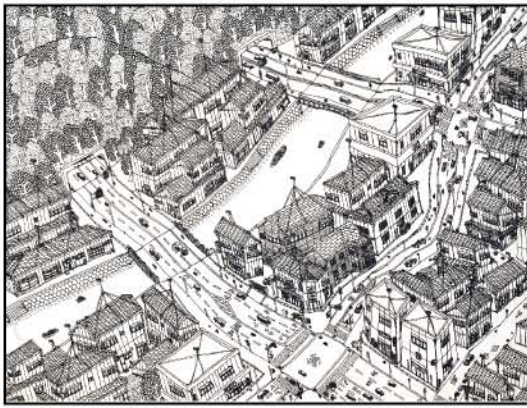
これまでの福祉施設等における障害者の芸術活動は、余暇的活動を中心とした生きがいづくりや、リハビリ向上のためのものなどが主であり、福祉関係者のみによる活動であったと言えますが、近年では、先駆的に活動されている関係者の方々のご努力により、障害者のすばらしい個性や才能に目を向けた美術作品の展示会などが全国各地で開催されることで、マスコミなどにも取り上げられるようになり、芸術関係者の関心も高くなってきているところです。

こうした中で、「障害者アート推進のための懇談会」を、文部科学省と共同で開催できましたことは、大変に意義のあることであり、今後の取り組みについての貴重なご意見をとりまとめていただきました福祉・芸術・教育分野でご活躍の委員の皆様には、心からお礼申し上げるとともに感謝いたしております。

「障害のある人たちが創造するアート」の推進に向けた新たな取り組みを進めていくためには、厚生労働省と文部科学省とが共同で、福祉・芸術・教育分野の関係者による相互連携を図りながら進めていかなければなりません。是非、この懇談会のとりまとめをご覧いただいた皆様からのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

多くの国民の皆様は「障害のある人たちが創造するアート」の魅力やすばらしさを知っていただき、心から感動していただくことで、障害者の芸術活動がより活発化するとともに、国民に障害への理解と認識を深めていただけることとなると思います。

それが社会の様々な垣根を取り払う一助となり、障害のある人ない人が「共生」して生きることのできる「ユニバーサル社会」の実現や「ぬくもりのある日本」へとつながることを期待しております。



辻 勇二(つじ ゆうじ)

タイトル:心でのぞいた僕の町 2000年制作 41.4×59.4cm  
水性ペン・紙 撮影:大西暢夫 収蔵:作家蔵



辻 勇二(つじ ゆうじ)

(愛知・自宅にて)  
撮影:大西暢夫



澤田 真一(さわだ しんいち)  
(滋賀・第二栗東なかよし作業所にて)  
撮影:大西暢夫



澤田 真一(さわだ しんいち)

無題 2006~2007年制作 陶土・自然釉 30×6cm 撮影:大西暢夫  
収蔵:NPOはれたりくもったり



喜舎場 盛也(きしゃば もりや)

無題 1997年制作 279×382cm 水性ペン・航空管制記録用紙  
撮影:大西暢夫 収蔵:作家蔵



喜舎場 盛也(きしゃば もりや)  
(沖縄・社会就労センターわかたけにて)  
撮影:大西暢夫